輝け！シン尾花沢中

たたえるほほの あかるさよ ああ光よぶ 学びやに

タイトルデザイン
教育指導室
伊藤瑞稀さん

全国花笠マラソン大会を盛り上げるために

5月3日（土）憲法記念日は、徳良湖周辺を会場に、第49回全国花笠マラソン大会が開催されます。今年度の参加者は1,060名だそうです。都道府県別の参加者数は下の表のとおりです。市教育委員会の塩原社会教育課長さんは「今年度は、沖縄県から1名参加されるのですよ」とうれしそうに話してくださいました。

ところで、尾花沢中の校訓の一つは「活力」です。

活力

夢や志をもち、他人の役に立つことに喜びを感じる生徒

重点⑥ 総合的な学習の時間「おばね学」を通した生き方・働き方につながる地域貢献の推進

ふるさとを大切に 重点⑦ 終わりの会10分を活用した「3点固定」検討時間の設定

青森県	1
岩手県	25
宮城県	229
秋田県	28
山形県	709
福島県	17
茨城県	6
栃木県	5
埼玉県	7
千葉県	4
東京都	19
神奈川県	4
新潟県	4
三重県	1
沖縄県	1

「他人の役に立つこと」「ふるさとを大切にすること」「地域貢献すること」を、尾中生には目指してほしいと思っています。

ここで、提案です。尾花沢市の行事「全国花笠マラソン大会」を盛り上げるために、尾中生として何ができるでしょうか？

私は次の3つを考えました。

1つ目は「参加すること」です。しかし、参加締切りは終わっており、今から「出ようかな」と思っても不可能です。ちなみに、私は「徳倉湖周辺4周」に参加し「できる限り盛り上げたい」と思っています。

2つ目は「受付や給水所でのボランティア活動（7:30～12:00）をしたり、沿道で応援したりすること」ことです。私はこれまでいくつかのマラソン大会に参加しましたが、中学生による給水のお手伝いや、「〇〇県の方々、ようこそ本市へ」などが書かれたボードによる応援などで、感動や勇気をもらったことがあります。ただし、これも練習試合や予定が入っている、徳良湖までの足がないなどの課題があり、実行できる尾中生は限られそうです。なお、「ボランティア活動で協力できる」場合は、4月24日（木）までに校長に報告してください。

3つ目は「手紙を書くこと」です。昨年、私は陸前高田市の奇跡の一本松マラソンに参加したとき、郵送されてきた封筒に小学3年生の書いた直筆の手紙が入っており、あたたかい気持ちになったことを思い出します。尾花沢市では、郵送は既に終わっておりますので、例えば、受付の際に配付し、受け取っていただくことが考えられます。

他にもできることがあるかもしれません。生徒会会長の大類鳳馬さんにも相談しています。尾中生として何ができるか、アイデアを教えてください。はるばるいらして下さった方々に、尾中生のあたたかい気持ちを届けられれば、と思います。 【文責 校長：工藤雅史】